

6-1.社会福祉法人あと会

法人基本理念

・本年度も法人全職員を挙げて、法人基本理念である「3Y のこころ」に沿って、施設サービス・在宅サービスにつとめ、地域または施設在住の高齢者の生活支援を実施した。また職員もこの理念に沿った職場作りをし、いきがいのある人生を送れるよう体制作りに努めた。

事業方針

・事業方針に従い、法人サービスご利用者の方々に、より充実した個別サービスを提供し生活の満足度を実感していただくべく努めた。また今年度は、南区出島に特別養護老人ホーム・介護つき有料老人ホームでじま・くにくさ開設に向けて、求人活動、PR 活動、新人研修等、開設準備に向けて職種を超えてチーム一丸となって取り組み、平成24年4月1日開設に至った。運営は概ね順調であり、引き続き適正な運営に努める。

運営方針

(1) 定期巡回・随時対応型訪問介護看護事業実施の検討

・地域で暮らす重度者を始めとした要介護高齢者の在宅生活を支えるため、日中夜間を通じて訪問介護と訪問看護で連携をとりながら、定期巡回訪問と随時対応サービスの実施する「定期巡回・随時対応型訪問介護看護」について、広島市よりあと会が阿戸・矢野地区で平成25年度の設置運営事業者に採択された。今後は、平成26年度中の事業所開設に向けて開設準備を進めていく。

(2) 特別養護老人ホーム・介護つき有料老人ホーム「でじま・くにくさ」の適切な運営

・平成24年4月に開設した特別養護老人ホーム・介護つき有料老人ホーム「でじま・くにくさ」は、平成25年度の年間平均稼働率98.4%(特養)、99.7%(有料)と順調な運営を行っている。平成26年度は、質の向上をテーマに、ご利用者・ご家族の要望に応じていきたい。

(3) 優秀な人財確保・人財育成

・広島県内また中国地方各養成校への求人活動の結果、平成25年度は阿戸・矢野地区6名、でじま地区3名、安佐北地区3名合計12名の優秀な人財を確保することができた。尚、採用した12名は、今年はふかわ・くにくさを会場として、2週間の新人研修ののち、各部署へと配属した。

(4)階層別研修の実施

・本年度は、新人・中堅研修は定例通り開催することができ、あと会ではたらく初任者として必要な知識を身につける為の教育ができています。ただし、ここ数年の課題であるが、あと会の未来を担う、リーダー・管理者クラスの研修を定着させ、マネジメントの方法を学ぶ機会を作っていくことについては、来年度の課題としたい。

(5)法人予算計画の適切な執行

・平成25年度は、でじま・くにくさが安定的な収益ラインにのったこともあり、法人全体としての収益目標は、達成された。一方で、野菜等の単価高騰の影響もあるが、グループ全体の食材料費が増加傾向にあるので、平成26年度は生鮮食品についても仕入れルートから見直し、質を担保しつつ食材料費の高騰を抑制する。

(6)スウェーデン ボロース市との交流によるケアの質の向上

・今年もスウェーデンボロース市へあと会から6名職員を派遣し(常務理事、介護職3名、事務・相談職2名)、またボロース市からも3名の職員を受け入れた(指導職1名、現場介護職2名)。ボロースとの交流も今年で3年目になるが、現場同士の交換留学により、国の文化を超えてお互いのいい技法や仕組みをうまく取り入れている。この交流については、来年度も引き続き継続して行っていく。

(7)全職員へのコンプライアンスの徹底

・全職員参加型の研修(同じ内容の研修を2カ月間に4回実施し、職員はいずれかの研修に必ず参加することとしている)を本年度も継続して行い、全職員にコンプライアンスを徹底することができた。来年度も高齢者虐待防止法や介護保険法といった関連法令の更なる徹底に努めていく。



